採択理由

プ ロ グ ラ ム 名：国際共同研究の推進
（１）先端技術創出国際共同研究
課 題 名：高生産性エネルギー環境植物の分子育種
代 表 者 名：横田 明穂
所 属 機 関 名：奈良先端科学技術大学院大学

コメント

本提案は、次世代バイオ燃料として注目されるヤトロファ (Jatropha curucas L.) に対して遺伝子導入技術を用いることにより、乾燥地など劣悪な環境下での生育性を高めるとともに、生産性を一層高めることを目的とするものであるが、我が国のエネルギー・環境問題にとっても大きな貢献が期待され、政策的必要性も高いと判断された。ヤトロファ種はバイオ燃料として確立しているとはいえないが、提案機関は、既に、インドネシアやボツワナの圃場においてパイロット的に育種研究を行い、バイオ燃料として現在注目されているトウモロコシより高い生産性を見込めることを確認しており、アジア・アフリカ乾燥地帯での栽培実用化も見据えた研究計画の積極性や意欲性を高く評価した。なお、本共同研究の将来の発展において、国外共同研究機関の役割がより重要になると考えられるので、それら機関との研究上の有益な協力関係を構築するための連携方策や役割分担について一層の工夫を行うことを望む。また、遺伝子導入作物の取り扱いについて、相手国における法制度についても適宜確認しつつ研究を実施されたい。